

第2次千葉県青少年総合プラン 平成27年度事業評価シートに対する委員意見一覧

重点 方策	番号	事業名	事業担当課	意見	委員名 (敬称略)	回答欄（特に記載がない場合は事業担当課）
I-1-1	1	道徳教育推進プロジェクト	指導課教育課程室	日本新聞協会では、「日々の色々な地域の新聞を読んで、新たな気づきを感じたり、HAPPYになったりした『HAPPY NEWSな記事』」を集め公表している。道徳教材づくりにこうした新聞記事を活用してほしい。	萩原	道徳の教材については、学習指導要領に道徳の時間に用いられる教材の要件が示されており、その内容と照らし合わせ、発達の段階も考慮の上、新聞記事等報道の活用も図っていきたくと考えます。
I-1-1	1	道徳教育推進プロジェクト	指導課教育課程室	青少年団体の大半は社会教育団体として、約束、定め等を掲げていわば道徳教育を推進しているといってもよい。方向性等連携できる点は連携していけるのではと、資料の一端でも見たいです。	鈴木	学校と家庭、地域社会との連携による指導の効果を高めるには、保護者や地域の人々との共通理解は欠かせません。県が作成した道徳教材のHPへの掲載をすすめてまいります。
I-1-1	1	道徳教育推進プロジェクト	指導課教育課程室	私が気になっているのは、社会のルールが守られていないこと。大人が子供に手本を見せられないこと。社会が子供に指導できないこと。次代を担う子供たちが社会の宝であるという考えが薄い。	富山	県では就学前から高等学校にわたって、自らの人生をよりよく生きていけるよう、学習指導要領等を踏まえて重点的な指導を行っております。今後も継続して指導していくことにより次代を担う子供たちの規範意識の向上を図ってまいります。
I-1-1	1	道徳教育推進プロジェクト	指導課教育課程室	実施計画の小・中・高・特支用の指導資料作成・配布は実施の成果として「実践資料集」になったとあるが、県で作成した映像教材とは別物なのか。道徳教育授業のあり方について協議出来た内容、実践研究を実施した内容は、公開され共有出来ているのか。千葉県独自の独自性とは、この場合何を指すのでしょうか。	重	道徳映像教材は、道徳の授業を充実させるための教材であり、一方で「実践資料集」は「心の教育推進キャンペーン」で行った実践授業についてまとめたものです。道徳教育懇談会での協議内容は、HPで公開し、実践研究の内容については、道徳教育推進教師研修会で、実践発表を行い共有しています。千葉県独自の独自性とは、「千葉県道徳教育の主題」に基づく「4つの視点」に沿った教材開発のことです。
I-1-1	2	学校人権教育の推進	指導課人権教育室	障害者に対する偏見や人権無視に基づく事例がなくなる。目指すべき共生社会づくりの中で、障害者は特別な存在ではない。健全者と同じ社会的役割と人権を有するという理念を学校教育の中で今まで以上に積極的に取り上げてほしい。東京五輪・パラリンピックを見据えても必要だと思う。	萩原	学校教育においては、人権尊重の精神の涵養を目指す人権教育は大変重要であると考えます。教職員の共通理解を図り、教育活動全体を通じて人権教育を推進するよう指導してまいります。障害のある人に関する意見に対してですが、学校へは特別支援教育課から平成28年3月30日付け教特第917号で「公立学校における障害を理由とする不当な差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の提供義務について」文書が出されております。また、学校人権教育研究協議会担当指導主事協議会・推進校協議会において障害者差別解消法について講師を招いて研修を実施したり、学校人権教育研究協議会高校協議会において行政説明を人権教育担当者に行ったりし、研修を通し周知に努めています。また、学校職員全員に配付している学校人権教育指導資料（リーフレット）に、障害者差別解消法、合理的配慮について掲載し、周知を図っています。
I-1-1	2	学校人権教育の推進	指導課人権教育室	私の市では健全育成連絡会が標語コンクールを実施して、多くの小中学生から多数の応募をいただき、優秀な作品を、カレンダーにしたり看板にしたりフラワーポットに貼ったりしています。	富山	市の取り組みを御紹介いただき、大変感謝しております。
I-1-1	3	ちばっ子「学力向上」総合プラン	指導課学力向上室	昨年も文科省が実施した学力テストで千葉県は例年並みで概ね全国平均と同程度とのこと。授業力向上の取り組みなど引き続きの向上を期待します。	鈴木	今後もちばっ子「学力向上」総合プランの各事業について評価・改善につとめてまいります。
I-1-1	3	ちばっ子「学力向上」総合プラン	指導課学力向上室	①事業実施計画にあるそれぞれの取り組みの成果は、どの様に評価されているのか。あるいは次のPDCAサイクルに具体的にどの様に活かされているのか。 ②大事な5つの視点を取り上げていますが、教師の取り組みと、子ども達の取り組み「豊かな人間関係づくり実践プログラム」（事業番号15-1・15-2）と合わせて考えたらもっとすばらしいのではないのでしょうか。この事業全体を図式化したら、理解しやすいのでしょうか。	重	①事業ごとに評価の観点と検証方法を決めています。それらをもとに、各担当者及び担当課の内部評価と学力向上推進会議委員による第三者評価を行い、事業の改善につなげています。 ②図式化の計画はありませんが、豊かな人間関係が深い学びにつながることは前提として考えております。ご意見ありがとうございます。全体像をまとめたものとしては、学校教育指導の指針があると考えております。

重点 方策	番号	事業名	事業担当課	意見	委員名 (敬称略)	回答欄（特に記載がない場合は事業担当課）
I-1-1	3	ちばっ子「学力向上」総合プラン	指導課学力向上室	①「学びの突破口ガイド」や「ちばっ子チャレンジ100」の配布や配信は良い試みだと思います。実際にはどのように活用されたのでしょうか。 ②「お兄さん、お姉さんと学ぼう」事業で高校生の参加人数はどの程度だったのでしょうか。今後、推進してほしい事業です。	白崎	①主に、授業、朝自習、家庭学習等の課題として活用されています。Web配信している「ちばっ子チャレンジ100」については、多い教材で月に2万件を超えるアクセスがあります。 ②高校生の参加延べ人数は570名、延べ実施日数は200日です。保育・幼稚園、小中学校、特別支援学校、59か所で開催しました。
I-1-1	4	いきいきちばっ子コンテスト「遊・友スポーツランキングちば」の実施	体育課学校体育班	日常生活能力の向上は今の子どもにも重要です。参加校数アップに、地域のボランティアを募集して種目等アイデア企画と実践をお願いしたらいかがでしょうか。高等学校の参加数アップより中学校の参加率を50%目標で取り組んだらいかがでしょうか。	鈴木	本事業は、児童生徒の体力向上を図るため、授業や業間、昼休みなどに取り組める種目を紹介し、積極的な外遊びや運動を奨励しています。また、教員立会いのもとに実施、確認されたものを公式記録として報告することとし、記録を競いあい活動の意欲化を図っています。 さらに多くの小・中・高等学校、特別支援学校で取り組んでいただけるよう、研修会等で呼びかけるとともに、種目や内容、実施方法について検討してまいります。
I-1-1	5	千葉県競技力向上推進本部事業	体育課スポーツ推進室 競技スポーツ班	小中学校にそれぞれのスポーツを指導できる先生がいない。今は、スポーツクラブ（スクール）頼りになっている。各スポーツ協会と連携した取り組みも考えたら良いと思う。	富山	貴重なご意見ありがとうございました。トップアスリート等による単発的な指導事業は行っていますが、恒常的な指導体制の補助ができていません。今後の課題とさせていただきます。
I-1-1	5	千葉県競技力向上推進本部事業	体育課スポーツ推進室 競技スポーツ班	大きな予算額ですが、付帯的な成果目標とその評価は別枠でなされているのでしょうか。スポーツ科学を取り入れた体幹を鍛えること等を始めているスポーツクラブなどもあります。トレーナーの育成にその様な要素を加味することも取り入れてはいかがでしょうか。	重	貴重なご意見ありがとうございました。国民体育大会8位入賞の大目標の元に各種事業を展開しております。スポーツ医科学の活用もその一つですが、トレーナーは育成よりも、活用に重点をおいております。今後の研究材料とさせていただきます。
I-1-1	5	千葉県競技力向上推進本部事業	体育課スポーツ推進室 競技スポーツ班	これまでの選手の育成と強化の成果を2020年のオリンピックに向けて一層推進すると共に、千葉県の青少年がスポーツに関心を持つ様な施策が必要と思います。	白崎	貴重な御意見ありがとうございました。国体選手等を学校現場へ派遣する事業などを展開しておりますが、さらにスポーツ振興が図れるように研究して行きます。
I-1-1	6	千葉フィールドミュージアム事業	文化財課学芸振興室	多くの子どもの参加が期待されていますが、記載されている参加数に占める子どもの割合はいかがだったのでしょうか。既存のミュージアムに限定せずに、地域を募りその地域の目玉となるフィールドを企画させたらいかがでしょうか。地域おこしにもなります。	鈴木	フィールドミュージアム事業の参加者は、海や山で実施する自然の観察会では親子での参加が多いため大人と子供の割合は子供が多い傾向があり、歴史民俗系の事業については大人が多い傾向があります。 事業内容等については、参加者等からの意見等を取り入れながら、内容等を工夫しているところです。御提案のあった、既存地域以外での実施につきましても、更なる参加を促すために検討していきたいと思います。
I-1-1	6	千葉フィールドミュージアム事業	文化財課学芸振興室	フィールドミュージアムという観点で行う事業は素晴らしい。フィールドの観察や調査・体験を通して子ども達が博物館などに集う、様々な立場の参加者とその地域の特性や課題に気づき、自分の興味関心の視野を広げて自分のできることを見つけていくことは大事な機会となる。安全確保や専門性の高い指導者の確保のために地域ガイド・保護者等を対象に研修を行う事も予算化したらどうか。	重	フィールドミュージアム事業は、野外での活動が主であるため、安全確保は重要な視点の一つです。 御提案のあった、地域ガイド・保護者等を対象にした研修につきましては、内容や実施方法も含め、検討していきたいと思います。
I-1-1	7	週末ふれあい推進事業	生涯学習課 社会教育振興室 社会教育施設班	週末ふれあいから主催事業としたことは良かったと思います。青少年教育施設は、貴重な教育財産です。地元の青少年団体に相談をして共同企画で子供たちの遊びを企画し、体験を通して人格形成に結び付けたいかがでしょうか。	鈴木	今年度からは、指定管理者の主催事業として、これまでと同様の体験活動を推進していく事業を計画・運営しております。また、各施設においては地元の団体との共催という形で、様々な事業も企画・実施しており、地域全体で子供の健全育成に関わるような仕組み、推進しております。
I-1-1	8	青少年教育施設の運営	生涯学習課 社会教育振興室 社会教育施設班	青少年教育施設は自然体験活動や生活体験活動の青少年の育成およびその指導者の訓練に有効な拠点です。プログラムや運営方法について、各施設間の情報交換を行い利用者のニーズに応えるようお願いいたします。なお少子化の影響などにより利用者数が減ったからといって、現在の5施設を減らすことのないようすべきです。	鈴木	青少年教育施設は、指定管理者に運営を委託しておりますが、施設長会議や職員研修会をとおして、お互いの施設や事業、活動プログラムを共有できるようにしており、よりよい運営ができるように指導をしています。

重点 方策	番号	事業名	事業担当課	意見	委員名 (敬称略)	回答欄 (特に記載がない場合は事業担当課)
I-1-1	9	子どもの読書活動推進事業	生涯学習課 社会教育振興室 社会教育班	子どもの活字離れは深刻だと思う。スマートフォンゲームにのめり込む子どもを、いかに活字の世界に呼び戻すことができるのか。日常の学校活動での取り組み強化が望まれる。「ブックスタート」事業の全市町村での実施へ県が全面的に(予算的に)支援するべきだ。	萩原	子どもの活字離れについては、学校等における一斉読書などの読書機会の設定や多様な学習の展開等により、発達の段階に応じた様々な読書活動を推進しているところです。さらに、公立図書館機能の強化や学校図書館の充実など、学校・家庭・図書館等を含めた地域が連携し、読書習慣を身につけさせる取組を行い、不読率の改善に努めてまいります。 また、ブックスタートは、市町村で行う乳幼児検診等の際、乳幼児と保護者が絵本を介して、触れ合いのひとときを持つことの大切さを伝える活動です。市町村ごとに健康保健課や子育て支援課などの首長部局または教育委員会などが担当し、主管が異なる事業であります。特に絵本の配付については、自治体の財政事情に応じて予算化されているのが現状であります。県の予算も厳しい中ですので、県教委としましては、具体的には、市町村に対して、司書や保健師等が連携・協力して、絵本の配付や読み聞かせを行い、絵本を楽しむ体験を実施するようさらなる普及・発展を推奨しているところです。また本好きな子どもの育成のためのフォローアップ事業を展開し、各家庭に本を通じた親子の触れ合いの意義を伝えてまいります。
I-1-1	9	子どもの読書活動推進事業	生涯学習課 社会教育振興室 社会教育班	読書活動は、子どもにとって基礎学力向上につながり、大変重要なことですので、県下90余の市町村立の図書館の利用促進のPRを教育委員会・学校を通じて行うなど市町村における推進を高めるよう願います。	鈴木	県教育委員会では、学校図書館の活性化や子ども読書活動の充実・推進を図るために、公立図書館と学校図書館の効果的な連携を図ることを目的とし、「公立図書館と学校の連携を図るための研修会」を開催しています。また、県立図書館では、県内の中核的な図書館としての役割を強化するとともに、県民に身近な市町村立図書館サービスや学校図書館ネットワークを様々な形で支援し、県内全体の読書活動の充実に努めてまいります。また、学校図書館運営上の相談や司書等の派遣、児童や生徒に役立つ資料・情報の蓄積・提供を通して、子どもの読書活動の充実に支援していきます。
I-1-1	9	子どもの読書活動推進事業	生涯学習課 社会教育振興室 社会教育班	読み聞かせボランティア入門講座を若い父親のみならず、シニアも対象に行うと良い。	重	読み聞かせボランティア入門講座は、県立中央図書館にて開催している事業です。読み聞かせボランティアや初心者を対象に、読み方などの技量アップを図っていくことで、子供を取り巻く読書環境の一層の充実を図ることを目的としており、一般県民対象なので、シニアの参加も含め、幅広い年代参加が可能です。
I-1-1	9	子どもの読書活動推進事業	生涯学習課 社会教育振興室 社会教育班	①読み聞かせボランティア入門講座の受講者数はどの位でしょうか。 ②両親対象の読み聞かせ実践講座があると良いと思います。	白崎	①読み聞かせボランティア入門講座(県立中央図書館主催)は、一般県民対象で定員50人で毎年、年2回県内各地で実施しています。 平成27年度の実績としては、第1回平成27年5月1日(金)会場:県立中央図書館52名、第2回平成28年1月22日(金)会場:長柄町公民館45名 ②一般向けには他にも、読み聞かせ講座(さわやかちば県民プラザ主催)を開催しており、一般対象とし、保護者の参加も可能としております。「読み聞かせ講座(一般対象)」平成28年2月5日(金)43名参加。 今後も県教育委員会としましては、読み聞かせの必要性や効果を理解するとともに、絵本の選び方や読み方を学び、今後の活動に活かすことを目的に講座を推進してまいります。
I-1-1	10	通学合宿推進事業	生涯学習課 社会教育振興室 社会教育施設班	通学合宿事業の効果は子どもの育成にとって有効であると認められます。県立青少年教育施設の活用以外の宿泊施設の確保の困難さは理解できますが、実施事例の情報交換など行って事業の普及を期待します。	鈴木	27年度は18の市町と4つの青少年教育施設で、合計47事業が行われました。このうち県立青少年教育施設を会場としたのは12事業で、残りの35事業は各市町の公民館や生涯学習センター、あるいは高等学校合宿所等を活用し、実施されました。県ホームページや各種会議での事例紹介等とおして、広く実施を呼び掛けているところです。
I-1-1	10	通学合宿推進事業	生涯学習課 社会教育振興室 社会教育施設班	寝食を共にする効果は自明の事実ですが、その施設が県下では少ない。青少年活動に参加出来ない児童生徒にこそ、この事業は有効なもの。各施設で行うのみならず、市町村の協力をえて、是非、実施継続してもらいたい。	重	地域住民の協力を得ることによる、地域教育力の向上も通学合宿の目的に含まれることから、各市町村で工夫して実施できるよう、情報提供をしているところです。今後も、様々な機会をとらえて、情報を提供し、助言、支援をしていきたいと考えます。

重点 方策	番号	事業名	事業担当課	意見	委員名 (敬称略)	回答欄（特に記載がない場合は事業担当課）
I-1-1	12	学童期からの生活習慣病予防事業	健康づくり支援課 食と歯・口腔健康班	子ども・若者の生活習慣病の予防を目指す民間団体、NPO法人との連携を進めるべきだ。	萩原	食生活改善活動に携わる人材育成や関係団体への情報発信等、連携して取り組んでいきます。
I-1-1	12	学童期からの生活習慣病予防事業	健康づくり支援課 食と歯・口腔健康班	千葉県は自然豊かで野菜や魚、肉類も豊富です。No. 14の学校給食事業とも合わせて推進していくことが望まれます。	鈴木	学校給食を活用した取組が進むよう、給食施設指導事業を推進していきます。
I-1-1	12	学童期からの生活習慣病予防事業	健康づくり支援課 食と歯・口腔健康班	「しっかり運動、早寝、早起き、朝ごはん」の弊害になっているのは、スマートフォンではないかと思う。できる環境をつくるのが大切だと思う。	富山	子供の生活習慣に大きな役割を果たす保護者に対してもイベント等において、食生活を中心とした生活習慣の啓発に取り組んでいきます。
I-1-1	13	ちば食育活動促進事業	安全農業推進課 食の安心推進室	食育活動事業は重要です。ボーイスカウトのある団では、小学生低学年・幼稚園年長児に畑を耕す、肥料をまく、じゃが芋やさつまいもを植え付ける、間引き、追肥、草取りなどを体験させ、収穫を迎えるという一連の作業を体験させていきます。生物の勉強、食のありがたみ、自然への感謝を体験します。道徳教育でもあります。教育委員会と地元ボランティアで、場所の確保を共同できればよい食育教育になります。パイロットスタディとしてもよい案です。	鈴木	農林漁業に関する体験活動は、食に関する関心や理解を深める上で重要であることから、ちば食育ボランティア・サポート企業、関係団体等と連携し、子供たちをはじめ多くの県民が気軽に農林漁業体験ができるよう、体験機会の拡大を図ります。
I-1-1	14	いきいきちばっ子食育推進事業	学校安全保健課 給食班			効果的な食育を推進するために、農業・水産系高等学校の豊かな圃場や施設を活用し、高校生と近隣幼稚園児・小・中学生との交流を通して、体験型の食育活動を展開していきます。今後も体験活動を取り入れるなど、効果的な食育の推進を働きかけてまいります。
I-1-1	15-2	豊かな人間関係づくり推進事業	指導課教育課程室	「豊かな人間関係づくり実践プログラム」の内容はどのような内容ですか。	白崎	「豊かな人間関係づくり実践プログラム」は、今、子どもたちに必要とされている人間関係づくりやコミュニケーション能力を育てるため、子供たちの発達段階に応じた千葉県ならではの実践プログラムで、小学1年生から中学3年生までを対象に学年ごとに作成されており、千葉県教育委員会のホームページ等にも授業の指導案を掲載し、現場の教員が授業で活用できるようにしているものです。
I-1-1	16	男女共同参画センター「男女共同参画講座等」の開催	男女共同参画課 企画調整班	参加者アップは、開催日を週日から土日開催へしたらどうか。	鈴木	講座等の開催日については、来ていただきたい参加者の性別・年齢等の属性に応じて、平日も含め参加しやすい開催日を設定していきたい。
I-1-1	16	男女共同参画センター「男女共同参画講座等」の開催	男女共同参画課 企画調整班	関係機関との連携で相乗効果を上げているのは素晴らしい。男性参加者・若年層参加者を増やす工夫を今後も是非継続して成果を上げて頂きたい。	重	平成28年度においては、子育てや男性の育児に関係する講演会等を開催し、20代から30代の若年層の子育て世帯の参加を増加させるとともに、男性の参加者増加を図る。

重点 方策	番号	事業名	事業担当課	意見	委員名 (敬称略)	回答欄（特に記載がない場合は事業担当課）
I-1-1	16	男女共同参画センター「男女共同参画講座等」の開催	男女共同参画課 企画調整班	開催した講座・セミナー・シンポジウムの内容はどのような内容でしょうか。	白崎	<p>〇男女共同参画シンポジウム 《講演会》 みんなが活躍できる社会を目指して ～私らしいワーク・ライフ・バランスを考える～ 講師：白河桃子さん（少子化ジャーナリスト・作家・相模女子大学客員教授） 昨今の現状と課題を踏まえながら、これから目指すべき男女共同参画社会についての講演会を実施。 《パネルディスカッション》 コーディネーター：西山恵美子さん（独立行政法人 国立女性教育会館客員研究員） パネリスト：白河桃子さん、川島高之さん（コチカラ・日本代表、ファザーリング・ジャパン理事）、花澤和一さん（一般社団法人 千葉県経営者協会専務理事） 様々な分野で活躍されている方をお迎えし、みんなが活躍できる社会を目指していくための具体的な方法についてパネルディスカッションを行った。</p> <p>〇大学との連携セミナー 《ワークショップ》 講師：神野真吾 准教授（千葉大学教育学部、千葉アートネットワーク・プロジェクト代表）、縣拓充特任教授（千葉大学コミュニティ・イノベーションオフィス、教育学部） 「感じ方」の違いを体感し、知ることは、自分らしさの再発見であり、相互理解の第一歩になることから、新たな視点を得ることで感じる力を磨き、日常をさらに彩り豊かにするため、「美術鑑賞」を題材にワークショップを実施した。</p> <p>〇地域団体との連携セミナー 《講演会》 女性に関わる法律講座 講師：大石聡子 弁護士 夫婦関係、離婚等をめぐる問題について、弁護士が具体的な事例をもとに講演を行った。</p> <p>〇女性リーダー養成講座 地域活動または政策・方針決定過程の場などにおいて、自らの能力を十分に発揮し、男女共同参画の視点をもって活躍する女性人材を養成することを目的に、下記4回の連続講座を実施するとともに、センターフェスティバルへの参加、NWEQフォーラムへの参加、千葉県議会の傍聴等の自主学習講座（全5講座）を実施した。 <input type="checkbox"/>第1回 《男女共同参画の基礎》 意見交換「地域で活躍する女性リーダーとは」 講師：西山恵美子さん（独立行政法人 国立女性教育会館客員研究員） <input type="checkbox"/>第2回 《千葉県の現状と課題を学ぶ》 「千葉県男女共同参画計画」、「千葉県の女性就労の状況と課題」等を学ぶ。 講師：千葉県職員</p> <p><input type="checkbox"/>第3回 《ワンランク上を目指す「コミュニケーション」講座》 コミュニケーションスキルを学ぶ 講師：特定非営利活動法人サポートハウスじよむ カウンセラー 高山直子さん <input type="checkbox"/>第4回 《仕上げ（地域課題解決へのアプローチ方法）・修了式》 本講座を通じて考えてきた「地域での取組み案」を、グループワークにより課題解決の一例としてまとめあげる。 講師：西山恵美子さん（独立行政法人 国立女性教育会館客員研究員）</p>

重点 方策	番号	事業名	事業担当課	意見	委員名 (敬称略)	回答欄 (特に記載がない場合は事業担当課)
I-1-1	17	こどもエコクラブの育成	循環型社会推進課 環境保全活動推進班	「登録数は年々増加しているが」は実数としてどの程度ですか。	鈴木	平成27年度の子どもエコクラブの数は84団体で、8,903名が登録されています。平成25年度が30団体・765名、平成26年度が48団体・3,969名であり、団体数・会員数ともに増加しています。
I-1-1	17	こどもエコクラブの育成	循環型社会推進課 環境保全活動推進班	私の住んでいる中学校区では、毎年12月にクリーングリーン活動を行っている。ゴミ拾いを通して奉仕活動、ゴミの分別、資源のリサイクル、環境保全に対する理解を深めている。毎年500人の生徒、青少年健全育成団体の人が参加している。	富山	こどもエコクラブとは、幼児から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブです。子どもたちの環境保全活動や環境学習を支援することにより、子どもたちが人と環境の関わりについて幅広い理解を深め、自然を大切に思う心や、環境問題解決に自ら考え行動する力を育成し、地域の環境保全活動の環を広げることを目的としています。活動内容は各クラブに任されていますが、地域での清掃活動を実施しているクラブもあります。
I-1-1	17	こどもエコクラブの育成	循環型社会推進課 環境保全活動推進班	この予算は環境学習講座の一部を使っている・・・と聞いていますが、県下のエコクラブをどの様に把握し、推進しているのか見えない。	重	各クラブの活動状況や登録状況は、公益財団法人日本環境協会こどもエコクラブ全国事務局から、随時情報提供があり、県としても内容を把握しています。県事業としては、こどもエコクラブの会員が集まって交流したり、活動内容の発表をしたりする「こども環境会議ちば」の開催と、この会議の内容をまとめたニュースレター「こどもエコネットちば」の発行を実施しています。
I-1-1	17	こどもエコクラブの育成	循環型社会推進課 環境保全活動推進班	子どもの環境保全意識の醸成とエコ活動の推進を継続していただきたい。	白崎	今後も、こどもエコクラブの会員同士が交流できる「こども環境会議ちば」を開催していくほか、さらに、こどもエコクラブのサポーターを支援する取組を実施してまいります。
I-1-1	18	若者の文化芸術活動育成支援事業	県民生活・文化課 文化振興班	音楽関係については、多くの小中学校で取り組んでいるが、他の芸術文化については少ないように思う。	富山	今後とも、音楽、演劇、舞踊、伝統芸能、文芸、映像、美術等の各分野について、支援を進めてまいります。
I-1-1	18	若者の文化芸術活動育成支援事業	県民生活・文化課 文化振興班	課題として提案されている「既存の枠組みにとらわれず、若者による文化芸術活動への新たな支援方法」を是非検討していただきたい。	白崎	若者による文化芸術活動の支援方法については引き続き検討してまいります。
I-1-1	19	消費者教育啓発事業	くらし安全推進課 消費者安全推進室	東京都では、主に家庭科の先生向けに消費者教育を実施してきたが、更に持続可能な社会を構成する市民としての観点を加味し始めたとのこと。千葉県の取り組みは、どのような点に力を入れていますか。	重	これまで実施してきました若者向け啓発冊子の配布を引き続き行い、学校での普及・活用を促すとともに、28年度は、「消費者市民社会」の考え方を盛り込んだものとなるよう冊子の内容更新を図ります。
I-1-1	19	消費者教育啓発事業	くらし安全推進課 消費者安全推進室	子ども若者向けには消費者被害防止のDVD作成も考慮した方が効果的なのではないでしょうか。	白崎	24年度に作成し配布した若者の適切なインターネット利用推進啓発DVD「インターネット×リアル」の学校等での活用を促します。
I-2-3	27	さわやかちば県民プラザ「交流事業」「学習・研修事業」	生涯学習課 社会教育振興室 社会教育施設班	受講者のその後の活動インタビューなどをWebで伝えるなどして、県としての人材バンクをつくるのはどうでしょうか	重	本年度、高校生の受講者に対しては、事後の活動をまとめる準備を進めているところです。今後、受講した方々の登録等について検討してまいります。
I-2-3	30	ボランティア活動支援体制整備事業	県民生活・文化課 県民活動推進班	大事な支援体制だと思えます。社協、NP0以外のボランティア団体の活用も視野に入れたらいかがでしょうか。例えば千葉県生涯大学校には地域活動学部や地域活動専攻科があり県下の多くのボランティア志望学生がおり、その卒業生の校友会などが地元で活動しています。県生涯大学校に呼びかけたいかがでしょうか。	鈴木	より効果的な事業展開に向け、ボランティア団体・生涯大学校とも連携し、広報等に努めてまいります。
I-2-3	31	ライトブルー少年賞事業	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	地道な善行活動に光を当てて表彰する素晴らしい制度なので、広めていく事業です。対象に中学・高校生年代まで含まれます。思い切って高校への優先入学、大学への優先入学推薦などの優遇措置を提案します。理由は、その生徒たちは進学した学校で使命感を持って善行の核となり結晶が成長するように広がることが期待できるからです。	鈴木	引き続き、青少年の善意や親切心に基づく善行を広く表彰し活動を称えとともに、その気運を広めてまいります。

重点 方策	番号	事業名	事業担当課	意見	委員名 (敬称略)	回答欄 (特に記載がない場合は事業担当課)
I-2-3	32	内閣府青年国際交流事業における参加青年の選考	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	青少年の国際感覚の醸成は、成田を抱える千葉県の重要なアイテムです。広報には市町村の民間団体運営の国際交流事業実施団体へのPRに注力願いたいと思います。	鈴木	引き続き、市町村等と連携しながら広報や国際的視野を持つ青少年の育成に努めてまいります。報告会等については、今後の検討課題とさせていただきます。
I-2-3	32	内閣府青年国際交流事業における参加青年の選考	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	2020年の東京オリンピックもあるので、是非そうして欲しい。	富山	
I-2-3	32	内閣府青年国際交流事業における参加青年の選考	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	県として、報告会や知事への表敬訪問や、報告会を支援して欲しい。	重	
I-2-3	32	内閣府青年国際交流事業における参加青年の選考	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	本事業への応募者の減少の要因は何なのでしょう。	白崎	様々な機会により青年が海外で活躍する場が広がっており、本県に限らず、当事業の参加者数が減少する傾向がみられます。日本代表として世界各国の青年と交流することを通して、広い国際的視野とリーダーシップを身に付けることを目的としている当事業については、今後も多くの方に参加していただけるよう、引き続き広報に努めてまいります。
I-2-3	33	幕張アジアアカデミー事業	国際課 国際交流協力室	アジアを学ぶことの大切さは論を待ちません。11校で実施した特別講義を拡大してはいかがでしょうか。その際イベントのタイトルが「アジア総合学科」ではとつき難いと思います。「もっと知ろうアジアを」など平易な表現を使えないのでしょうか。	鈴木	引き続き県内全ての高校に対し広報を行い、多くの高校の参加を促進します。授業テーマを各高校に任せることによって、生徒がより積極的に取り組めるよう努めてまいります。
I-2-3	33	幕張アジアアカデミー事業	国際課 国際交流協力室	より積極的に継続実施を進める必要がある事業だと思います。	白崎	アジア経済研究所と協力し、継続的に実施します。
I-2-3	34	東京オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援事業	体育課スポーツ推進室 オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援班	現在は、才能のある選手の育成は指導者のいるスポーツスクール、ジム、クラブに依存している。一流のアスリートや指導者体制のない学校教育では育ちにくい。才能のある子供を一流の指導者のいるスポーツクラブ等に通う費用等をサポートするべきだと思う。	富山	ジュニア世代の選手育成は、競技により、学校部活動が中心となる場合と民間スポーツクラブが中心となる場合があると理解しています。現行の強化費の助成制度において、スポーツクラブ等に通う費用は、特別強化指定選手の補助対象（外部指導者活用）となっております。
II-3-5	45-1	子ども・若者育成支援推進事業	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	教育的支援、家庭への支援、就労支援が1カ所に対応できるようになっているのか。	萩原	困難を抱える子ども・若者の状態は千差万別で、必要な支援もそれぞれ異なるため、各機関が連携して対応しているという状況にあります。各機関の連携を強化するために「県子ども・若者支援協議会」があり、また「ライトハウスちば」に相談していただくことで県民の方々に、ニーズや状態にあった支援先をご紹介できるようにしています。
II-3-5	45-1	子ども・若者育成支援推進事業	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	担当者のワーキンググループを実施したとのことですが、現場の担当者の意欲向上と情報交換の場として良いと思います。現場重視のワーキング作業を提案します。	鈴木	引き続き、協議会のワーキンググループを活用しながら、活発な意見交換等を行うとともに、現地調査等も実施し現場の状況を踏まえながら、実効ある取り組みにまいります。
II-3-5	45-1	子ども・若者育成支援推進事業	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	ニート、引きこもり、不登校の数はとても多いと聞いている。現状を把握して成果に結びつく対応をお願いしたい。	富山	
II-3-5	45-2	子ども・若者育成支援推進事業	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	ライトハウスちばの高校・中学へ出前PRをしたらいかがでしょうか。特に相談件数の多い地域を優先して、生徒、保護者が対象です。相談事例とその指導結果の紹介をします。紙やメディアのPRは十分でしょうかから次は直接聞いてもらう作業ではないでしょうか。	鈴木	効果的な広報・啓発の方法を引き続き検討してまいります。
II-3-5	47	ひきこもり地域支援センター事業	障害福祉課 精神保健福祉推進室	・電話相談内容の内訳はどのようになっているのでしょうか。 ・アウトリーチを希望される方が少ないのはどうしてでしょうか。	白崎	<ul style="list-style-type: none"> ●平成27年度の電話相談の内容については以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ・電話相談件数1,187件 ・新規23%、再77%（うち、日常的に掛けてくるもの27%） ・相談申込者：本人77%、家族20%、その他3% ・相談申込者の居住地：県内98%（安房地域33%、東葛飾地域22%） ・本人の性別：男性81%、女性19% ・本人の年齢：20代56%、30代13%、40代18% ・ひきこもり状況：1年未満6%、1～5年8%、5～10年4%、不明77% ・主訴：話を聞いてほしい83%、就労・社会参加4% ・相談時間：10分以内38%、11～30分以内28%、30～60分31% ●アウトリーチを希望される方が少ない理由としては、「話を聞いてほしい」という方が殆どであり、電話で話をしたことで満足される方が多いと考えられる。また、家族が訪問を希望しても本人は望んでいない場合も多い。（全て理由を聞きとってはいるが「訪問希望なし」が94%）

重点 方策	番号	事業名	事業担当課	意見	委員名 (敬称略)	回答欄（特に記載がない場合は事業担当課）
II-3-5	48	訪問相談担当教員の配置	指導課 生徒指導・いじめ対策室	不登校児童を抱える家庭にとっては深刻な問題です。担当教員が孤立化しないよう年5回の研修会を月例会にしたいかがでしょうか。	鈴木	訪問相談担当教員研修会では、担当地区における不登校支援等の情報交換をしています。12名の訪問相談担当教員は、研修会以外でも互いに連絡を密にし、事例の支援方法等について助言をしながら活動しています。また、スクールソーシャルワーカーや各教育事務所の担当指導主事等とも定期的に連絡会を開催しながら、連携を図っています。研修会の回数については、訪問相談担当教員のニーズを把握しつつ、子どもと親のサポートセンターを中心に検討していきたいと考えます。
II-3-5	48	訪問相談担当教員の配置	指導課 生徒指導・いじめ対策室	訪問相談担当教員が1人当たり946件の対応を行った、ということですが、人員数の問題はないのでしょうか。	白崎	訪問相談担当教員の支援している不登校児童生徒数や対応件数は年々増加傾向にあります。対象となる児童生徒の状況を踏まえつつ、訪問先の位置関係等を考慮して、効率よく訪問相談ができるようにするなど、できるだけ多く、丁寧に対応するために工夫して活動しています。
II-3-5	49	生徒指導専任指導主事の配置	指導課 生徒指導・いじめ対策室	色々ないじめの形態はあると思いますが、SNSによるいじめも多くなっていると聞いています。県が行っているネットパトロールをもっと充実させていただいたと思います。	富山	生徒指導専任指導主事は各教育事務所に配置され、管内の公立学校に対して、いじめや不登校等、生徒指導上の諸問題に対応するための指導・助言を行います。ネットパトロールについては、県民生活・文化課が行っておりますので、ご確認ください。
II-3-5	51	ひきこもりサポーター養成・研修事業	障害福祉課 精神保健福祉推進室	是非、市町村の理解を深め登録者を増やしてほしいと思います。	富山	ひきこもりサポーター派遣事業は、現在2市以外では行われていない。実地主体が市町村であり、ひきこもっている本人への支援自体がなかなか難しいため、個別の相談に対する対応はしていても、事業化し難いのではないかと考えられる。県としても、今後ひきこもり対策をどのように実施していくかを引き続き検討していきたい。
II-3-5	52	いじめ対策等生徒指導推進事業	指導課生徒指導・いじめ対策室	事業名と事業内容の不一致	白崎	いじめによって不登校となることがあるため、「いじめ対策等」に、不登校を扱いましたが、事業名と事業内容が一致しない印象を与える結果であったと考えます。（今年度、事業は廃止）
II-3-5	53	外国人児童生徒等教育に関する連絡協議会	指導課 教育課程室	日本語能力が低く、日本の生活習慣・制度への理解が不十分である外国人児童の保護者に対する支援を県もすべきではないか。	萩原	県立学校に在籍する日本語指導を必要とする外国人児童生徒に対して、児童生徒の母語を理解する教育相談員を派遣し、児童生徒への日本語指導だけでなく、保護者との連絡に必要な翻訳や通訳も行っております。
II-3-5	53	外国人児童生徒等教育に関する連絡協議会	指導課 教育課程室	特に東南アジア系の外国人が増えています。市町村の支援で民間の国際交流協会が地道に活動している。いくつかの拠点でのパイロットスタディを組んだらいかがでしょうか。	鈴木	県教育委員会では、外国人児童生徒の在籍校の日本語指導担当者、市町村教育委員会の担当者、日本語指導支援員等を対象に、年3回日本語指導担当者連絡協議会を開催し、相互に情報交換することにより公立小・中学校における日本語指導の充実を図っています。
II-3-5	53	外国人児童生徒等教育に関する連絡協議会	指導課 教育課程室	外国人児童生徒の日本語指導の現状（日本語教員の派遣等）はどのようなになっているのでしょうか。	白崎	県立学校に在籍する日本語指導を必要とする外国人児童生徒に対して、児童生徒の母語を理解する教育相談員を派遣し、日本語指導、適応指導、保護者との連絡に必要な翻訳や通訳を行っております。平成28年度は、県立学校からの要請に基づき、支援を必要とする高等学校26校すべてに外国人児童生徒等教育相談員を派遣しています。
II-3-5	57	教育相談事業の充実	子どもと親のサポートセンター 教育相談部	予算も4,000万円と多く膨大な相談件数をこなす情報も多大了。最も重要なことは関係諸機関との連携だと思います。相談事業は、他にも計画番号45-1、45-2、46、47、48、49等存在しています。連携を密にするための組織横断的な対策会議など組織、方法等ありますでしょうか。因みに民間の企業の事例ではクレーム・問題は窓口一本化で関係部署の連絡会議を頻繁に開き対応を検討しています。	鈴木	夜間・休日の電話相談委託先業者（ダイヤル・サービス株式会社）との連携会議は、毎月1回行っている。また、本センター主催での、関係機関との対策会議等は実施していないが、関係機関との連携のための機会として、他機関主催による以下のような意見交換会が実施されており、それらの意見交換会に参加することで関係機関との連携を図っている。 ○千葉県精神保健福祉センター主催（H28.3）「電話相談に関する情報交換会」 ○委託先業者（ダイヤル・サービス株式会社）主催「いじめ・教育電話相談意見交換会」（H27.11開催）・10自治体参加 ○千葉県警察本部警務課主催「相談業務相互支援ネットワーク意見交換会」（H27.9開催） （主な参加組織）・千葉県女性サポートセンター・千葉県中央児童相談所 健康福祉部児童家庭課 虐待防止対策室（子ども・女性110番）・千葉県精神科医療センター・千葉県男女共同参画センター・日本司法支援センター（法テラス）・千葉県警察本部生活安全部少年課（少年センターヤング・テレホン） ○千葉県教育研究所連盟 教育相談部会（県内教育センター参加）

重点 方策	番号	事業名	事業担当課	意見	委員名 (敬称略)	回答欄 (特に記載がない場合は事業担当課)
II-3-5	58	ちば地域若者サポートステーション事業	雇用労働課 若年者就労支援班	15歳から39歳の若者が何もしないことが問題です。こうした人に起因する事件が多いです、しっかりとした支援が望まれます。	鈴木	地域若者サポートステーションでは、コミュニケーション能力等若者が就労に向けて必要なスキルを身に付けた上で自立し、将来の展望を抱いて生活できるよう支援して参ります。
II-3-5	58	ちば地域若者サポートステーション事業	雇用労働課 若年者就労支援班	事業の成果が得られている様子なので更なる推進を望みます。	白崎	地域若者サポートステーションでは、ハローワークと連携し、合同企業説明会を実施するなど、若者の就労支援に対する取り組みを強化して参ります。
II-3-6	60	生活福祉資金貸付事業(教育支援資金)	健康福祉指導課 自立支援班		白崎	生活福祉資金貸付事業のなかの教育支援資金として、経済的理由により就学が困難な高校生等に対して、引き続き資金の貸付により支援を行っていく。
II-3-6	62	千葉県奨学資金貸付事業	財務施設課 予算調整室育英班	経済的理由により修学が困難な高校入学・在学生に対して、卒業後、返還義務のない就学援助を望みます。		平成26年度から、奨学資金の貸付事業に加えて、「高等学校等奨学のための給付金事業」を開始したところです。この事業は、授業料以外の教育費の負担を軽減するため、低所得の世帯に対し、実質的な給付型の奨学金として実施しているものです。支給対象は、生活保護世帯又は市町村民税の所得割額が非課税の世帯となっています。支給額は、国公立の全日制、定時制の場合、生活保護世帯が3万2300円。所得割非課税の世帯の1人目が5万9500円、2人目が12万9700円となっています。通信制の場合は、生活保護世帯が、3万2300円。所得割非課税の世帯が3万6500円となっています。
II-3-6	62	千葉県奨学資金貸付事業	財務施設課 予算調整室育英班	給付型への転換、一部導入はできないか。	萩原	
II-3-6	62	千葉県奨学資金貸付事業	財務施設課 予算調整室育英班	国の奨学金でも返還金滞納が問題となっています。返還義務の周知徹底を望みます。後進のためにも返還は義務です。	鈴木	返還義務については、貸付の開始時に配付する「千葉県奨学生手帳」や、終了時に配付する「千葉県奨学資金返還の手引き」に明記しているところです。また、学校での説明会や奨学金の募集時に、本制度が貸付制度であり、返還金が後輩たちへの貸付原資となることを説明しているところです。今後も、奨学金は貸付制度であり、返還義務があることを周知徹底してまいります。
II-3-6	62	千葉県奨学資金貸付事業	財務施設課 予算調整室育英班	貸付にあたって、本当に就学意欲があるのか、貸付者の卒業率・就業率などを分析し、真に必要な人に貸付けて欲しい。	富山	貸付に当たっては、在籍する学校長の推薦書等により修学意欲を確認しています。
II-4-7	63	社会を明るくする運動補助金	健康福祉指導課 地域福祉推進班	更生後の就労について、県も前向きに取り組むべきではないか。	萩原	県では、若者向けの「ジョブカフェちば」、女性・中高年齢者向けの「千葉県ジョブサポートセンター」など、対象者に応じた就労支援施設を開設しておりますが、更生後の就労については、これらの施設を活用しながら、一人ひとりの状況や希望に応じた就労支援を行ってまいります。〔雇用労働課〕
II-4-7	63	社会を明るくする運動補助金	健康福祉指導課 地域福祉推進班	「67. 少年に手を差し伸べる立ち直り支援活動」も合わせてこの事業目的につながる団体もあります。何か貢献できると良いと思います。(千葉県青少年団体連絡協議会加盟団体です。)	鈴木	社会を明るくする運動の強調月間である7月は、内閣府主唱の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」となっています。両運動をより効果的に実施するため、今後も更なる関係機関の連携の強化に努めてまいります。
II-4-7	63	社会を明るくする運動補助金	健康福祉指導課 地域福祉推進班	社会を明るくする運動については、支部単位で取り組んでいるが、作文コンテストが効果が高いことは知っている。県としても、ビデオの作成、電光掲示板の活用などマスメディアを活用した啓発活動を行って欲しいと思う。	富山	社会を明るくする運動に対しては、県においても、強調月間である7月に合わせて、bay FMや千葉テレビといったメディアによる広報や県ホームページにおいて周知を行っているところです。今後も、より一層、県民に本運動に関心を寄せてもらえるように周知に努めてまいります。
II-4-7	64	青少年非行防止対策事業	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	スマートフォンの利用について、学校教育の中で取り組むべきではないか。	萩原	スマートフォンの利用については、学校においても情報モラル教育が行われているとともに、県においても、小中高校等からの依頼を受けて、ネット利用に関する講演を実施しています。今後とも、スマートフォンの適正利用に関する啓発に努めてまいります。
II-4-7	64	青少年非行防止対策事業	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	ネットパトロールで得た実際の情報をいろいろな機会をとらえて保護者等に対してアピールすることが大事だと思います。「非行・被害防止リーフレット」は保護者向け以外にも、青少年団体指導者向けにも配付してほしいです。	鈴木	ネットパトロールで得た具体的な事例の情報提供や、保護者への啓発のため、リーフレット等において、児童生徒及び保護者に対して、具体的な事例を紹介するとともに、家庭でのルール作りやフィルタリングの利用を呼び掛けています。今後とも、青少年のネット被害防止に向けて、より効果的な啓発について検討してまいります。
II-4-7	64	青少年非行防止対策事業	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	スマートフォンやインターネットの利用については、家庭に大きな責任がある。学校や自治体でもSNSの利用ルールを話し合っていますが、ネットパトロールの結果を見ると、子供や親の意識が改善されているとは思えない。	富山	

重点 方策	番号	事業名	事業担当課	意見	委員名 (敬称略)	回答欄 (特に記載がない場合は事業担当課)
Ⅱ-4-7	65	学校警察連絡制度	警察本部少年課	県警レベルでの意見交換も良いと思うが、現場である学校と警察の意見交換の場があっても良いと思う。市の青少年問題協議会だけでは不十分だと思う。	富山	本制度は、学校と警察署の相互連絡のための制度で、円滑に運用するため、県警と県教育委員会、千葉市教育委員会、千葉県私学協会等と協定を締結しています。本制度により、警察署から学校へは、①逮捕事案、②逮捕事案以外で、関係機関が連携し継続的に対応することが必要と認められる事案について、学校から警察署へは、①児童生徒の非行及び被害の未然防止等のため警察署との連携が必要と認められる事案、②学校内外における児童生徒の犯罪被害の未然防止及び安全確保のため警察署との連携が必要と認められる事案について、相互連絡しています。効果として、児童生徒の問題行動や校内暴力に関する情報などを学校と警察署の双方で共有できることとなり、非行の未然防止や立ち直り、被害児童の保護対策が早期に講じられることになりました。
Ⅱ-4-7	68	少年サポート活動	警察本部少年課	学校向けの広報活動はどのように実施しているのでしょうか。学校ごとに教職員対象のセミナーを計画してはいかがでしょうか。県下一斉の面対応ではなく、点对応で潰してゆく地道な作業が何年もかかりますができませんでしょうか。	鈴木	非行防止等のための広報啓発活動は、学校からの要望に合わせて、児童生徒だけでなく教職員の皆さんを対象にして実施しております。今後も、学校等からの要望に応じた活動を続けて参ります。
Ⅱ-4-7	70	タッチヤング活動	警察本部少年課	良い事業だと思います。少年に礼儀を教えます。大会以外に各警察ごとの教室開催に費用を増やしたらよいと思います。費用対効果はあると思います。	鈴木	タッチヤング活動に関する予算は、大会運営費用だけが容認されている状況です。県財政が厳しい中運営を続ける情勢ですが、本活動が更に発展するよう努めてまいります。
Ⅱ-4-7	70	タッチヤング活動	警察本部少年課	柔道11チーム、剣道17チームは警察署の数から見ても少ないと思う。良い施策だと思うので、参加数を増やす努力をして欲しい。	富山	平成27年度の参加チーム数は、前年度より、柔道チームが1チーム、剣道チームが2チーム増え、柔道チーム11チーム(77人)、剣道チーム17チーム(119人)でした。今後も本活動が発展するよう努めます。
Ⅱ-4-7	72	自転車盗難対策推進モデル校事業	警察本部生活安全総務課 犯罪抑止推進室	自転車盗難対策もさることながら、スマホのながら運転、夜間無灯火など運転マナーの指導強化が望まれます。	鈴木	本事業は、自転車の盗難防止を学生、生徒と共に推進する事業となり、自転車の乗り方等の指導は行っておりませんが、各署の交通課員が小学校などで実際に自転車を使用して自転車の乗り方を指導しているほか、「子ども自転車千葉県大会」を開催するなどして交通安全教育を推進しております。
Ⅱ-4-7	72	自転車盗難対策推進モデル校事業	警察本部生活安全総務課 犯罪抑止推進室	自転車の盗難件数が、犯罪認知件数を増やしている。徹底した盗難防止施策を実施して欲しい。	富山	本事業では、モデル校に指定された学校の学生や生徒と共に、自転車盗難防止キャンペーンを行い、学校周辺の駐輪場利用者などに対し、自転車盗注意喚起のチラシやワイヤー錠の配布などを行うとともに、少年の規範意識の向上を図っております。
Ⅱ-4-7	73	薬物乱用防止対策事業	薬務課 麻薬指導班	配付したDVDの利用状況を把握し、徹底してほしい。	富山	教育庁と協働して各学校にアンケートを実施することにより使用状況を把握いたします。
Ⅱ-4-7	73	薬物乱用防止対策事業	薬務課 麻薬指導班	学校に配布されたDVDの活用状況を確認してほしい。(計画番号75「薬物乱用防止教育」との関連も含めて)。	白崎	
Ⅲ-6-11	101	自主防犯意識の醸成促進事業	くらし安全推進課 防犯対策推進室	防犯パトロール隊出動式・「式」だけでなく「出動」すべきではないでしょうか。	鈴木	防犯パトロール隊出動式は、「安全で安心なまちづくり旬間」を周知することを目的に実施しており、その中で防犯キャンペーンを行っています。今後は、各市町村などにおいても、住民の自主防犯意識の高揚を図るための活動に取り組んでもらうこととします。
Ⅲ-6-11	102	防犯意識を高める広報啓発事業	警察本部 子ども女性安全対策課	私は6月第1週が痴漢対策強化週間であることを知らなかった。もっとPRして関連機関、団体と連携してやって欲しい。	富山	効果的な周知方法について検討してまいります。
Ⅲ-6-11	103	防犯ボランティア活動促進事業	くらし安全推進課 防犯対策推進室	是非、取り組みを強化して欲しい。	富山	地域防犯力の向上に関する交流大会の開催や高校生や大学生(ヤング防犯ボランティア)へのパトロール資機材の貸与などを通じ、自主防犯団体の活性化を図っていききたいと考えています。

重点 方策	番号	事業名	事業担当課	意見	委員名 (敬称略)	回答欄（特に記載がない場合は事業担当課）
Ⅲ-6-11	107-1	ちばっ子安全・安心推進事業	学校安全保健課 安全室	柏市立十余二小学校の実践発表を他校に普及したら良いと思います。点对策です。紙より価値あります。	鈴木	柏市立十余二小学校の取組は、公立幼小中学校の安全主任を対象とした安全主任等地区別研究協議会や学校安全教室において実践発表を行っています。また、当該校の取組を県教育委員会のホームページに掲載し、防犯教育の普及に努めているところです。
Ⅲ-6-11	107-1	ちばっ子安全・安心推進事業	学校安全保健課 安全室	この項目ではないのかもしれないが、一昨年から道路改正法が施行され、自転車に対する指導が強化された。しかし、自転車の安全利用五則が守られていない。これは、大人が守っていないからである。ルールを守ることが命を守ることであるともっとPRして欲しい。	富山	県教育委員会では、県警等と連携し、小学生に「交通安全基礎教育事業」、中学生に「ルールを守ろう！中学生自転車教室」、高校生にスケアードストレイト技法による交通安全教室を実施しているほか、学級活動等で指導できるよう、発達段階に応じた啓発資料を各学級に配布するなどに取り組んでいます。今後も次代を担う子どもたちを事故から守るとともに、子どもたち自身が加害者とならないよう発達段階に応じた交通安全教育に努めてまいります。
Ⅲ-6-11	108	青少年の社会環境づくり事業	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	立ち入り調査は実効性のある指導だと思います。市町村に権限移譲は良いと思います。この場合、市町村担当者の情報交換連絡会が必要だと思います。県下まとめず地域ごとが良いと思います。	鈴木	引き続き市町村の理解のもと、権限移譲を進めるとともに、市町村との情報交換のあり方についても検討し、実効性のある調査の実施に努めてまいります。
Ⅲ-6-11	109	青少年ネット被害防止対策事業	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	ネットパトロールは実効的な対策です。きめ細かく個別に潰してゆくので効果は出ると思います。また保護者や指導者・学校職員への生の加工されない情報のフィードバックは統計的な数字より効果的です。先般の勉強会での講演は驚きの現実を痛感しました。ぜひ継続実施すべき事業です。	鈴木	スマートフォンの利用については、県では小中高校等からの依頼を受けて、ネット利用に関する講演を実施しています。引き続き青少年のネット被害防止に向けてより効果的な啓発について検討してまいります。
Ⅲ-6-11	109	青少年ネット被害防止対策事業	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	とても大切なことだと感謝している。引き続き、多くの学校等でSNSの正しい利用、危険性についてPRして欲しい。	富山	
Ⅲ-6-11	111	サイバー犯罪対策の推進	警察本部 サイバー犯罪対策課	安全教室695回は大変だと思うが、小中高の数を考えればまだまだ少ないと思う。今後も引き続き取り組んでほしい。	富山	警察は、今後も学校等からの講演依頼を受けて、ニーズに応じたネット安全教室を積極的に開催して参ります。
Ⅲ-6-11	112	暴走族総合対策の推進	警察本部交通捜査課	暴走グループの被害は地域住民のみならず、少年に勘違いのカッコよさ・物まねの悪影響があります。暴走族相談員の存在は初めて知りましたが地道に暴走族をなくし、正常な生活に復帰する機会を与えたいと思います。これも点をつぶしてゆく地道な作業です。ご健闘をお祈りします。	鈴木	継続して事業を推進します。